1／みこしを載せ大漁旗をなびかせ入港
2／久慈湊十日会の創作太鼓
3／ブースの前には人、人！
4／生うには１時間余りで完売！
5／高校生海女クラブもホタテ釣りをお手伝い

市場に７千人のにぎわい

久慈みなと・さかなまつり

７月29日、市営魚市場卸売場をメイン会場に、久慈みなと・さかなまつり（久慈市漁業協同組合／久慈みなと・夏まつり実行委員会主催）が開催されました。以前はもぐらんぴあ周辺を会場としていた久慈みなと・夏まつりですが、会場では東日本大震災の復旧作業等が行われているため、今年はさかなまつりと合同で開催することとなりました。

オープニングセレモニーでは、久慈湊十日会太鼓組が創作太鼓を披露。力強い響きが海のまつりに華を添えました。

まつりでは、おみこしの海上渡御海上パレードが行われたほか、海産物の即売やうまいもの市、芸能発表などが開かれ、約７千人の来場者でにぎわいました。

子どもと一緒に会場を訪れた藤原里子さん（長内町）は「子どもが船を見たいと言うので来ました。市場でのまつりには初めて来ましたが、お客さんがいっぱいでびっくりしました」とにぎわいに驚いた様子でした。

会場からの質問に答える関上勇医師

糖質抑えて体質改善も

第25回市民公健康講演会

７月25日、アンバーホールで市民健康講演会（久慈医学談話会主催）が開かれ、約120人の市民が来場。「糖質制限食のすすめ」と題した講演は、ごはんなどの糖質が多い食品を抑えたことで糖尿病が改善した実体験や患者の体質が改善した例を紹介しながら「医食同源」の大切さを市民に訴えました。

力いっぱいみんなで収穫

小久慈保育園で収穫

７月20日、小久慈保育園（高柳利久園長）の園児が、親子菜園でニンジンの収穫を行いました。収穫には園児のほか保護者も参加。４月末にみんなで種をまいたニンジン。園児の胸の高さまで伸びたニンジンの葉の根元をしっかりとつかみ、園児たちは力いっぱいニンジンを引き抜いていました。

大きなニンジンを収穫する園児たち

記念品を受け取り笑顔で記念撮影

入館者300万人を達成

土風館で記念式典

やませ土風館は７月19日、入館者300万人を達成。記念すべき300万人目は神奈川県横須賀市から夫婦で訪れた池田宏さん。中塚勝則館長から記念品を手渡された池田さんは「一生の記念になります。レトロ館や展示している山車も素晴らしいですね。」と妻のユリ子さんと一緒に笑顔でした。

TOWN TOPICS

広報リポーターの突撃取材！

帰省客など千人が集う

華やかな衣装で踊る参加者

お盆の８月13日大川目町まちづくり協議会（野田勝久会長）は第16回久慈備前の里夏祭りを開催。小・中学生の郷土芸能のほか、鎮魂の打ち上げ花火や懸賞ナニャドヤラ大会も行われ帰省客など千人余りで賑わいました。（小倉利之リポーター）

どろんこでサッカー大会

泥の中で大熱戦の中学生たち

どろんこサッカー大会が８月７日、休耕田特設コートで開催。３回目の今年は、夏井・宇部・侍浜の中学生35名６チームが出場し、泥まみれの熱戦を繰り広げました。選手、応援団の大歓声が夏井の田園に響き渡りました。（梅沢政隆リポーター）

ご長寿おめでとうございます

佐々木リサさんが100歳に

７月20日、佐々木リサさん（巽町）が100歳を迎え、家族も集まり長寿を祝いました。山内隆文市長がお祝状を読み始めると、佐々木さんも一緒に声に出してお祝い状を読んでいました。山内市長からお祝い状と祝い金を受け取り、家族から花束をもらうと笑顔で喜んでいました。

佐々木さんは裁縫・編み物が好きで、数年前までは布団カバーや孫が学校で使う雑巾などを作ったりもしていたそうです。最近の楽しみはひ孫に会うことという佐々木さん。好き嫌いなく小食だったことと、自宅で好きな編み物をして楽しく過ごしたことが長寿の秘訣のようです。

家族に囲まれ笑顔の佐々木リサさん（左から３番目）

戦没者の安らぎを願い

市戦没者追悼式

戦地で亡くなった人を悼む市戦没者追悼式が、８月９日に市内催事場で行われました。式には遺族など約130人が参加。黙とうと追悼の言葉に続き、献花が行われました。祖国の安泰を願い家族を案じつつ戦地に散った戦没者に、参加者は心からの安らぎを願い、静かに手を合わせていました。

献花をし静かに手を合わせる参加者

熱い演技を見せるキャスト

美しい演出に感動！

被災地での特別復興講演

富良野ＧＲＯＵＰ東北被災地特別公演「明日、悲別で」の公演は７月28日、アンバーホールで開催。約700人が会場を訪れました。

久慈高校演劇部の谷地伽奈江（かなえ）さんと坂下伶菜（れいな）さん（共に１年）は「遠くからでも伝わる演技、メイクなどプロの舞台はすごい！」と美しい演出に感動していました。

魚を捕る大変さを実感

久喜小児童が漁業体験

７月26日、久喜海づくり少年団の夏休み漁業体験が２年ぶりに行われました。学年ごとにウニ採りや定置網の網起こしなどを体験。網起こしを体験した廣﨑陸星（りくせい）くん（久喜小６年）は、「網を引く漁師さんは力強かったです。魚を捕ることの大変さを実感しました」と話していました。

大きいウニ、かぎで上手に採ったよ～